

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

広 報 課 (内線：7020)

3目 広報費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
戦略的情報発信費	62,221	54,224	7,997				62,221	
トータルコスト	78,996千円 (前年度 63,906千円) [正職員：2.1人]							
主な業務内容	撮影委託、印刷物・広報グッズの作成							
工程表の政策目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・県外での県の認知度・好感度を高め、観光や食、移住定住等の施策を支援するため、多岐にわたる情報発信を実施 ・部局横断的な情報発信の強化と組織の連携強化・職員の能力向上 							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県のブランドイメージを高めるために、県外・海外へ向けてインパクトの強い情報発信を戦略的に展開する。とりわけ、情報発信力があり、ブランド化を先導する首都圏に向けた情報発信に重点的に取り組む。また、新しい情報通信技術の活用、人的ネットワークの構築・拡充を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 情報発信の充実強化 58,860千円(54,224千円)</p> <p>本県独特で他県と差別化できる平成23年度の素材に光を当て、県外・海外へ向けて強力に情報発信を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既に情報発信力のある「ゲゲゲ」「鳥取砂丘」「二十世紀梨」などを5つのメインテーマ(5G=Gegege, Gateway, Geo-park, Groumet, Green)として位置づけ、それらと「まんが王国」「とろはた」「鳥取和牛」など隠れた魅力やこれから育てていきたい素材を組み合せ、時代の風を読みながらタイムリーに情報発信していく。 ○首都圏向けの情報発信を強化するためのプロジェクトチームを設置し、部局横断的に連携して効果的に情報発信していく。 ○外国人観光客誘致、通商物流促進、県産品消費拡大を促進するため、環日本海圏を中心とする海外のメディア等を活用し情報発信していく。 <p>※以上のうち、年度当初からコンスタントに実施する基幹的情報発信については、債務負担行為(平成22年12月設定、15,000千円)によって着手済。</p> <p>(2) 新しい情報通信技術の活用 923千円(0)</p> <p>ツイッター、ユーチューブなど、インターネットを中心とする新しい情報通信技術を情報発信に活用する。</p> <p>(3) 人的ネットワークの構築・拡充 984千円(0)</p> <p>シナリオライターや漫画家、プロデューサーなどの本県への視察招聘等を通じて、人脈を維持・発展させる。</p> <p>(4) 標準事務費 1,454千円(0)</p> <p>※()内は平成22年度当初予算額</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部局ばらばらで戦略性に乏しかったこれまでの情報発信を改善し、部局横断的ないくつかのテーマを示しながら、時期や内容を調整して効果的に展開する。 ・県民も含めた様々な主体が多様な媒体を用いて本県の魅力等を発信することを促進する。 								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

関西本部（電話：06-6341-3955）

9目 県外事務所費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
ゲゲゲのふるさと鳥取県魅力発信事業	5,557	5,677	△120				5,557									
トータルコスト	9,551千円（前年度9,711千円） [正職員：0.5人 非常勤職員：0.1人]															
主な業務内容	企画調整業務、イベント作業、契約事務など															
工程表の政策目標（指標）	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取自動車道全線開通を念頭においた観光入込者数の増 鉄道を利用した観光入込者数の増 観光、物産等を複合的にPRする県の魅力発信（発地別観光入込客数（近畿圏発）：平成24年度までに2,400千人へ） 															
事業内容の説明																
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>関西における大きな情報発信拠点の1つであるNHK大阪放送会館で魅力発信イベントを開催することで、本県に対する認知度や好感度の向上を図り、更なる誘客促進や移住定住者の増加につなげる。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>関西でも知名度と好感度が非常に高い「ゲゲゲの鬼太郎」を活用して「ゲゲゲのふるさと鳥取県」をテーマとしたイベント内容とすることにより、効果的に本県の魅力を発信する。 （イベント概要）</p> <table border="1"> <tr> <td>開催日時</td> <td>平成23年4月15日（金）～4月17日（日）予定</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>NHK大阪放送会館アトリウム（大阪市中央区大手前）</td> </tr> <tr> <td>コンセプト</td> <td>「ゲゲゲの鬼太郎キャラクター」を活用した本県の魅力発信</td> </tr> <tr> <td>主な内容（予定）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●「ゲゲゲのふるさと鳥取県」のイメージ発信 ●本県の観光コースや特産品を「ゲゲゲの鬼太郎」キャラクターが紹介 ●新しいトピックスをきっかけとした本県の新たな魅力発信（新たなトピックス） <ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク連盟加盟 ・国際マンガサミットの開催 ・「うさぎ年」と「因幡の白うさぎ」のコラボレーション ・JRとの連携（DC、ミニDC） ●伝統芸能の披露やステージイベント等の実施 </td> </tr> </table> <p>3 これまでの取組状況・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成15年度以降、関西の情報発信拠点の1つであるNHK大阪放送会館で、鳥取県魅力発信イベントを開催している。 期間中の来場者はもとより、NHK大阪放送局が制作する生放送番組でも取り上げられるなど、本県の魅力を発信する絶好の機会となっている。 過去の実績から、関西圏でも圧倒的な知名度と指示を誇る「ゲゲゲの鬼太郎」が集客のエンジンとなりうることから、今後も「ゲゲゲのふるさと鳥取県」をPRのコンセプトとしたイベント内容にすると共に、山陰海岸ジオパークや国際マンガサミットの開催など、旬の魅力をより多くPRできる内容とする。 									開催日時	平成23年4月15日（金）～4月17日（日）予定	開催場所	NHK大阪放送会館アトリウム（大阪市中央区大手前）	コンセプト	「ゲゲゲの鬼太郎キャラクター」を活用した本県の魅力発信	主な内容（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ●「ゲゲゲのふるさと鳥取県」のイメージ発信 ●本県の観光コースや特産品を「ゲゲゲの鬼太郎」キャラクターが紹介 ●新しいトピックスをきっかけとした本県の新たな魅力発信（新たなトピックス） <ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク連盟加盟 ・国際マンガサミットの開催 ・「うさぎ年」と「因幡の白うさぎ」のコラボレーション ・JRとの連携（DC、ミニDC） ●伝統芸能の披露やステージイベント等の実施
開催日時	平成23年4月15日（金）～4月17日（日）予定															
開催場所	NHK大阪放送会館アトリウム（大阪市中央区大手前）															
コンセプト	「ゲゲゲの鬼太郎キャラクター」を活用した本県の魅力発信															
主な内容（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ●「ゲゲゲのふるさと鳥取県」のイメージ発信 ●本県の観光コースや特産品を「ゲゲゲの鬼太郎」キャラクターが紹介 ●新しいトピックスをきっかけとした本県の新たな魅力発信（新たなトピックス） <ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク連盟加盟 ・国際マンガサミットの開催 ・「うさぎ年」と「因幡の白うさぎ」のコラボレーション ・JRとの連携（DC、ミニDC） ●伝統芸能の披露やステージイベント等の実施 															

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

情報政策課（内線：7094）→事業実施：観光政策課

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																		
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源																			
(新) 鳥取A i R M a p 運用管理事業	(債務負 担行為 8,122) 4,991	0	(債務負 担行為 8,122) 4,991				(債務負 担行為 8,122) 4,991																			
トータルコスト	7,387千円（前年度 0千円） [正職員：0.3人]																									
主な業務内容	インフォタグ新規・変更・削除登録、リスティング広告管理、 T w i t t e rによる情報発信																									
工程表の政策目標（指標）	—																									
事業内容の説明																										
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>拡張現実（AR）情報により観光地や特産品等を紹介するスマートフォン用アプリケーション「鳥取A i R M a p」を活用して情報発信を行う。</p>																										
<p>2 主な事業内容 （単位：千円）</p> <table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取A i R M a pの運用管理</td> <td style="text-align:right">4,061</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リスティング広告</td> <td style="text-align:right">730</td> <td></td> </tr> <tr> <td>T w i t t e rによる情報発信</td> <td style="text-align:center">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>標準事務費</td> <td style="text-align:right">200</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align:center">合 計</td> <td style="text-align:right">4,991</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	備 考	鳥取A i R M a pの運用管理	4,061		リスティング広告	730		T w i t t e rによる情報発信	—		標準事務費	200		合 計	4,991	
区 分	予算額	備 考																								
鳥取A i R M a pの運用管理	4,061																									
リスティング広告	730																									
T w i t t e rによる情報発信	—																									
標準事務費	200																									
合 計	4,991																									
<p>3 これまでの取組状況</p> <p>平成22年8月から鳥取A i R M a pによる情報発信を開始し、9月には鳥取A i R M a pを活用したイベントも行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ダウンロード数 約5,000（新規：約1,600、アップデート：約3,400） 																										
<p>【債務負担行為額】</p> <p>鳥取A i R M a pシステム利用料 限度額 8,122千円（平成24～25年度）</p>																										

平成23年度一般会計当初予算説明資料


7款 商工費

3項 観光費

観光政策課（内線：7238）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰文化観光圏整備事業	(10,897) 5,972	(18,086) 13,472	(△7,189) △7,500			(4,925)	(5,972) 5,972	
トータルコスト	6,771千円（前年度16,699千円）〔正職員：0.1人〕							
主な業務内容	協議会総会等の開催、構成団体との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致を促進する。							
※上段（ ）は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額								
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 地域の主体的な取組みを総合的かつ一体的に推進するため、広域の連携体制を整備し、新たな観光資源の掘り起こし、多様な観光資源を組み合わせることにより、圏域内での2泊3日以上滞在型観光を促進する。 《山陰文化観光圏の概要》 ○範囲 鳥取県：中部5市町、西部9市町村 島根県：東部8市町、大田市、隠岐3町1村 ○協議会構成員 圏域に関係する観光団体、宿泊関係団体、交通事業者、旅行会社、経済団体、自治体等（116団体） ○整備計画期間 平成20年8月29日から平成25年3月31日まで ○圏域の特性と事業テーマ ー自然、神秘性・環境、歴史文化、癒し・スポーツ、食ー 多様性のある「神々のふるさと」への旅 <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ご縁で結ばれる、感動の旅</div> ー訪れてよし、住んでよしの地域創造ー </div>								
2 主な事業内容 (1) 事業費 5,972千円（事務局運営委託料） (2) 事業内容 鳥取県事務局内に観光ワンストップ窓口の構築検討、観光地間や異業種間の連携を調整するコーディネーター、情報発信等に係るアドバイザーを配置する。								
3 これまでの取組状況、改善点 平成20年 8月 観光圏協議会設立 10月 国土交通大臣の観光圏第1号認定・滞在型観光を促進するための事業を開始 平成21年 4月 鳥取県事務局設置（コーディネーター配置） 平成22年 4月 鳥取県事務局移転（米子商工会議所）、アドバイザー配置								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光政策課（内線：7238）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 2012年山陰デスティネーションキャンペーン推進事業	7,500	0	7,500				7,500	
トータルコスト	12,293千円（前年度 0千円）〔正職員：0.6人〕							
主な業務内容	負担金交付事務、協議会の運営並びに連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>J Rグループ6社と山陰（鳥取・島根）両県の観光事業者、行政が一体となって観光資源の開発や全国的な宣伝を行う広域的な観光キャンペーン「山陰デスティネーションキャンペーン」（以下：DC）が平成24年10月～12月に開催されるが、このキャンペーンの推進組織である協議会に対し、負担金を交付する。（山陰でのDC開催は、今回で5回目）</p>								
2 主な事業内容								
<p>(1) 実施主体 山陰デスティネーションキャンペーン協議会（H22.11.8設立） 会 長：平井知事 副会長：溝口知事、石本米子支社長 構成団体：鳥取県、島根県、J R西日本米子支社 両県観光連盟、市長会、町村会、観光関係団体 等 ※H22～23の会長は鳥取県知事、H24の会長は島根県知事</p>								
(2) 実施時期 平成24年10月1日～12月31日（92日間）								
(3) キャンペーンテーマ（例） 古事記1300年、まんが、ジオパーク、山陰の食 等								
(4) 平成23年度の主な事業内容								
ア 全国宣伝販売促進会議（旅行会社の現地研修）の開催（H23.10）								
イ 5連貼りポスターを全国の主要駅に掲出（H23.11）								
ウ ホームページの開設（H23.6）								
エ PRグッズの制作、イベントガイドブックの版下作成 等								
(5) 負担金内訳 (単位：千円)								
	区 分	H23	H24	合計				
	鳥取県	7,500	12,500	20,000				
	鳥取県観光連盟	12,500	27,500	40,000				
	島根県側	20,000	40,000	60,000				
	合 計	40,000	80,000	120,000				
参考：山陰両県でのDCの開催状況（過去4回とも両県で共同開催）								
(1) 1986年（昭和61年）8月1日～11月30日								
(2) 1997年（平成9年）6月16日～8月31日								
(3) 2003年（平成15年）7月1日～9月30日								
(4) 2006年（平成18年）4月1日～5月31日								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光二次交通整備 支援事業	10,305	2,934	7,371				10,305	
トータルコスト	12,701千円（前年度 4,548千円）〔正職員0.3人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、マップの作成、関係機関との連絡調整							
工費の政策目標(指針)	全県あげてのもてなしの向上に努めるとともに、観光二次交通の充実を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 旅行形態が団体旅行から個人旅行に変化し、観光客の受入態勢整備として基幹交通拠点から観光地までの二次交通の整備が緊急を要することから、県内の観光二次交通整備の充実を図ることにより本県への訪問客の増加を図る。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 事業費 10,305千円 (2) 事業内容</p>								
事業名	金額(千円)	事業内容						
(新) レンタカー乗り捨て料金無料化キャンペーン実施	5,000	鳥取県・岡山県・島根県エリアで、レンタカー乗り捨てに係る経費の無料化キャンペーンを実施し、周遊しやすい環境を整え、新たな観光需要を喚起する。 ・対象エリア 鳥取県・岡山県・島根県の空港及びJR主要駅 ・実施期間 3ヶ月程度 ・対象者 鳥取県内で1泊以上の宿泊客						
鳥取空港－鳥取砂丘間乗合タクシー運行支援事業	822	鳥取空港と鳥取砂丘を直結する乗合タクシーの運行について、鳥取市と連携し、必要な経費を支援する。 ・運行期間 4月～12月までの金・土・日・祝 ・運行時間 鳥取空港発 1便、2便着の10分後出発 鳥取砂丘発 4便発の1時間前出発 ・支援内容 最低売上必要額から売上額を差し引いた額及び広報に必要な経費。補助率1/2 ※県と鳥取市が1/2ずつ支援 ・補助対象 鳥取ハイヤー共同組合						
浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス運行支援事業	1,000	鳥取砂丘・浦富海岸を周遊する観光ボンネットバスの運行を支援し、県内の山陰海岸ジオパークの周遊性を高める。 ・運行期間 4月～6月、夏休み期間の土・日・祝 ・支援内容 ボンネットバス運行に必要な経費。補助率1/3 ・補助対象者 浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会						
(新) エリア別観光ガイドマップ作成	3,150	観光客に県内の二次交通情報をわかりやすく提供するため、東部・中部・西部のエリア別に観光二次交通情報をまとめたガイドマップを作成・配布する。						
鳥取バス旅マップ作成	333	観光二次交通として、路線バスの活用を促進するため、路線バスの時刻、路線図を掲載した冊子を作成・配布する。						
<p>3 これまでの取組状況、改善点 平成18年度から浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス、平成21年度から鳥取空港－鳥取砂丘間乗合タクシーを運行するとともに、路線バスを観光二次交通として活用するため、鳥取バス旅マップを作成している。 今後、レンタカー乗り捨て料金無料化キャンペーン等を行うことで、県内の周遊性の整備を図っていく。</p>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光政策課（内線：7237）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
実感！近くて快適！ 鳥取県アクセス向上 PR強化事業	24,000	30,000	△6,000				24,000	
トータルコスト	25,598千円（前年度31,614千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	業者委託に係るコンペティション等実施・契約事務、委託業者との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取自動車道の県内区間は昨年全線開通し、今年度中には九州新幹線、および山陰自動車道の「東伯・中山道路」も開通予定。関西、中京、中四国、九州エリアから鳥取県へのアクセスが格段に向上することから「近くなった」鳥取県を、山陰海岸ジオパーク、「まんが王国とっとり」、韓国ドラマ「アテナ」などの重点テーマと合わせて、テレビ、雑誌などの各種情報媒体を組み合わせ、効果的に情報発信することで観光客の誘致増加につなげる。

2 主な事業内容

(1) 事業費

24,000千円（委託料）

(2) 事業内容

- ・旅行雑誌や新聞、テレビ、そして、ブログ、ツイッター、ユーチューブなどインターネットを通じた新しい情報媒体の組み合わせにより、観光情報発信を集中的に展開。
- ・パブリシティ中心による情報発信とし、広告代理店等へコンペティション等により委託。
- ・関西・中京・中四国・九州を重点エリアとし集中的に情報発信。

【パブリシティの展開例】

区分	展開方法・内容等
関西・中京・ 中四国・九州	<ul style="list-style-type: none"> ○ テレビ番組（全国ネット 4本以上） ○ 自動車、鉄道専門誌 「JAFメイト」、NEXCOガイドマップ、 「鉄道ファン」とのタイアップなど ○ 旅行雑誌（全国誌 4本以上） ○ ソーシャルメディア用観光情報発信 「鳥取県観光情報ウェブサイトやユーチューブ 「鳥取県サイト」（広報課事業）などで放映 する動画作成（8本以上）

3 これまでの取組状況、改善点

- ・NHKで放映された連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」や「山陰海岸世界ジオパークネットワーク」加盟などのホットな話題と併せて情報発信に努めた。
- ・また、「山陰海岸ジオパーク」が世界ジオパークネットワークに加盟（平成22年10月）し、「まんが王国とっとり」を目指して平成24年に国際まんがサミットが開催（平成22年8月に開催決定）されることから、鳥取県の重点テーマについてもあわせて情報発信する。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ようこそようこそ、ゲゲゲのふるさと鳥取県！PR事業	15,000	15,000	0				15,000	
トータルコスト	16,598千円（前年度16,614千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等							
工程表の政策目標（指標）	マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 平成22年度に引き続き「ゲゲゲのふるさと鳥取県」を全国にアピールするため鳥取県への観光振興を目的として誘客キャンペーン等を実施する。								
2 主な事業内容								
I ゲゲゲのふるさと鳥取県！PR事業 「ゲゲゲのふるさと鳥取県」をPRし、県外からの誘客増を図るため、期間限定のオリジナル鬼太郎グッズを作成し、県内の観光地を訪れた方にプレゼントする。								
(1) 展開案								
①首都圏や中京、近畿、九州等で開催されるイベント、および各種メディアでのキャンペーンを告知								
②期間中に県内観光施設等で、オリジナル鬼太郎キーホルダーなどを配布								
③抽選で鳥取県産品をプレゼント。								
(2) 実施期間：平成23年7月中旬～9月末								
補助金名	ようこそようこそ、ゲゲゲのふるさと鳥取県！PR事業補助金							
事業実施	(社)鳥取県観光連盟							
補助率	10/10							
予算額	10,000千円							
II 「ゲゲゲのふるさと鳥取県！」電子版スタンプラリー事業 ゲゲゲの鬼太郎のキャラクターなどを活用した電子版スタンプラリーを実施することで、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」を、主に携帯電話およびスマートフォンの利用者に対してPRし同利用者の誘客を図る。また、スタンプラリー参加者により、ツイッター、フェイスブックなど双方向のコミュニケーション媒体を通じての「ロコミ」効果にも期待。								
(1) 展開案								
①携帯・スマートフォンにおいて電子版スタンプラリーの鳥取県版を作成								
②鳥取県各所をめぐり、ゲゲゲの鬼太郎のキャラクターなどを発見することで、携帯・スマートフォン上にてスタンプが貯まる。								
③スタンプを貯めることでプレゼントなどの特典を入手。								
(2) 実施期間：10月ごろ 1ヶ月間程度								
(3) 対象：携帯電話・スマートフォン利用者								
(4) 予算額：5,000千円（委託料）								
3 これまでの取組状況、改善点								
<ul style="list-style-type: none"> ・NHKドラマ「ゲゲゲの女房」の影響もあり水木しげるロードでは372万人の入込み客数を記録。 ・平成22年度に実施した「ようこそようこそ、ゲゲゲのふるさと鳥取県キャンペーン」では約2万6000人の参加者を数えるなど「ゲゲゲのふるさと鳥取県」の認知度アップに貢献した。 ・キャンペーン参加者、観光施設、旅行会社等から継続して同キャンペーンを開催してほしいとの要望が多かったことから、引き続き「ゲゲゲのふるさと鳥取」のPRおよび「まんが王国とっとり」の認知度を高め観光誘客につなげる活動を実施する。 								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9709）

1目 観光費<地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫 支出金	起債	その他	一般財源	
「スポーツツーリズム」先進モデル事業	(32,043) 25,525	(13,755) 13,755	(18,288) 11,770			(6,518)	(25,525) 25,525	
トータルコスト	31,915千円（前年度18,596千円）〔正職員：0.8人〕							
主な業務内容	ワンストップサービス拠点づくり業務、サイクリングロード検討業務、連絡調整業務							
工程表の政策 目標（指標）	地域資源（ひと・もの・活動）の魅力を生かして、国・県内外からの来訪者が享受できるようにする。							

※上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

スポーツツーリズムによるインバウンド推進の可能性を探るため、県西部地域をモデルとして、次の実証実験を行う。

- (1) スポーツツーリズムの旅行商品の企画、販売、実施などを合同会社皆生未来開発に委託
- (2) 近年、来訪目的の高まっているサイクリングと大山登山に係る所要の検討・整備
- (3) 軸となるスポーツ大会の国際化に向けた支援

2 主な事業内容

- (1) (新)ワンストップサービス拠点づくり事業 500千円

ア レンタルサイクル実施事業補助金 500千円

クロスバイク等購入費・パンフレット作成費への助成 【助成】合同会社皆生未来開発

*負担割合：県1/3、米子市1/3、事業者1/3

※ワンストップサービス拠点に配置する中核人材（コーディネーター）については、緊急雇用創出事業を活用する。

- (2) 重点スポーツフィールド検討・整備事業 13,495千円

ア (新)サイクリングロード検討事業 650千円

県の検討委員会開催経費、視察経費、専門家による試走評価経費

*必要なハード整備は、原則、道路を所管する国、県又は市町村が実施する。

イ 大山登山道看板整備事業 12,845千円

県が管理する大山登山道の看板リニューアル（デザインの統一、外国語表記・66基）経費

- (3) スポーツ大会支援事業 10,000千円

国際化対応等を積極的に進める代表的なスポーツ大会に対して、必要な経費の一部を補助。

スポーツ大会名	補助対象経費	補助率	金額（千円）
全日本トライアスロン皆生大会	国際的大会としての情報発信	県1/2	7,000
(新)ツール・ド・大山	及び著名人の招へい等に係る経費		1,000
皆生・大山シーツァーサミット	大会運営経費		2,000
計			10,000

- (4) 連絡調整費 1,530千円

大山中海圏域の観光宣伝を行う事務的経費

3 これまでの取組状況

- ・日本発祥のトライアスロン皆生大会や皆生・大山シーツァーサミットなどのスポーツ大会の開催を通して、当圏域の魅力を県内外に広く情報発信した。
- ・観光庁が任命するスポーツ観光マイスター第1号に、小原工氏（トライアスロンのシドニー五輪代表）が就任した。（平成22年度）
- ・トライアスロン皆生大会へ観光庁長官を招へいするなどし、本県のスポーツツーリズム推進に向けた取組を国等へPR。H23.3月には本県での観光庁のモニターツアーが実現した。（平成22年度）
- ・関係団体等とともに、サイクリングロード造成に向けた検討を開始した。（平成22年度）

平成23年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
4項 林業費
2目 林業振興費

森林・林業総室(内線:7304)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 森林セラピーの郷づくり事業	3,440	0	3,440				3,440	
トータルコスト	4,239千円(前年度 0千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務、森林セラピーの普及啓発							
工程表の政策目標(指標)	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

智頭町が取り組んでいる「森林セラピーの郷づくり」について、平成22年4月に森林セラピー基地として認定され、平成23年度にグランドオープンすることから、森林セラピー基地の県内外への普及啓発、セラピーに関連するサービスのレベルアップ等の取り組みについて支援し、森林セラピーを活用した地域振興を推進する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

事業名	事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
森林セラピー基地普及啓発支援事業	智頭町の森林セラピー基地の普及啓発、レベルアップ等の取り組みを支援 【主な取り組み】 ・グランドオープンイベントの開催(平成23年夏頃) ・プレオープンモニターツアーの開催 ・関西圏等の県外に普及PR ・ガイド、セラピーメニュー、民泊、セラピー食等の勉強会を開催、先進地視察等でサービスをレベルアップ ・中国地方で森林セラピーに取り組んでいる自治体によるブロック会議を開催	智頭町・智頭町森林セラピー推進協議会	6,880	3,440	県1/2

3 これまでの取組状況、改善点

- 平成21年7月に智頭町内の多種多様な業種からなる智頭町森林セラピー推進協議会が発足し、セラピーのガイド養成、セラピー食の開発、民泊施設の体制整備など、来訪者の受入体制を整えているところである。
- 平成21年度から、森林セラピー基地にセラピーロード、休憩施設、トイレ、駐車場、案内看板等の施設を整備し、森林セラピーの受入施設を整備しているところである。
- 平成22年度、森林セラピーのモニターツアーを実施し、約1,000名の申込み(人数制限で、実際の体験者数は約600名)があり、誘客資源として期待されている。
- 平成22年4月1日に智頭町は森林セラピー基地として認定され、平成23年夏頃にはグランドオープンし、関西圏を中心とした県外等から本格的に森林セラピーの来訪者を受け入れる予定である。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課（内線：7523）

2目 文化財保護費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)とっとりの文化遺産魅力発掘事業	1,586	0	1,586				1,586	
トータルコスト	3,982千円（前年度0千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	プロジェクト会議・検討会の運営、各種イベント等の企画・運営							
工程表の施策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の概要

妻木晩田遺跡、上淀廃寺、三徳山から近代化遺産（若桜鉄道・五臓圓ビルなど）まで、県内の優れた文化遺産を観光資源としても活用できるようその魅力の発信を行う。

また、現在はまだ文化財としては評価されていないが、琴浦町の「鰻絵（こてえ）」や、日野郡の「たたら」など地域特有の資源に光を当て、観光資源ともなる文化遺産の掘り起こしを行う。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
文化遺産の魅力発掘プロジェクト会議	474	文化遺産の積極的な活用推進のため、市町村・NPO法人やボランティアガイドなどによる会議を観光部局と連携して立ち上げ、文化遺産を観光資源として活用し、地域活性化に向けた取組みを進めるためのマスタープランを検討する。
文化遺産の観光資源としての活用	89	<ul style="list-style-type: none"> ・「とっとりレトロ」といったテーマを設けて倉吉玉川・智頭板井原などの歴史的な町並みや若桜鉄道・五臓圓ビルなどの近代化遺産をホームページなどで重点的にPR ・妻木晩田遺跡周辺や歴史の道（古道）ウォークに加えて、法勝寺電車廃線などをたどるコースの設定を検討し、歴史遺産ウォークを展開 ・各施設相互研修によるその他ボランティアガイドの養成等
観光資源となる文化遺産の掘り起こし	1,023	琴浦町などに伝承されている「鰻絵」や日野郡を中心に県内に多く見られる「たたら」の検証、山陰最古の駅舎「御来屋駅」など鉄道遺産の検討

3 これまでの取組状況、改善点

これまで有形無形の文化財について、着実に国・県指定、国登録を行ってきている。

これらの、文化遺産としての価値を評価するとともに、観光資源として有効に活用し、観光誘客にもつなげる取組みを推進する。